

相引川水系 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

1. 説明文
 (1) この図は、下記2.(4)に記載する河川の区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の下記2.(4)に記載する河川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により下記2.(4)に記載する河川が氾濫した場合の浸水の状況シミュレーションにより予測したものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

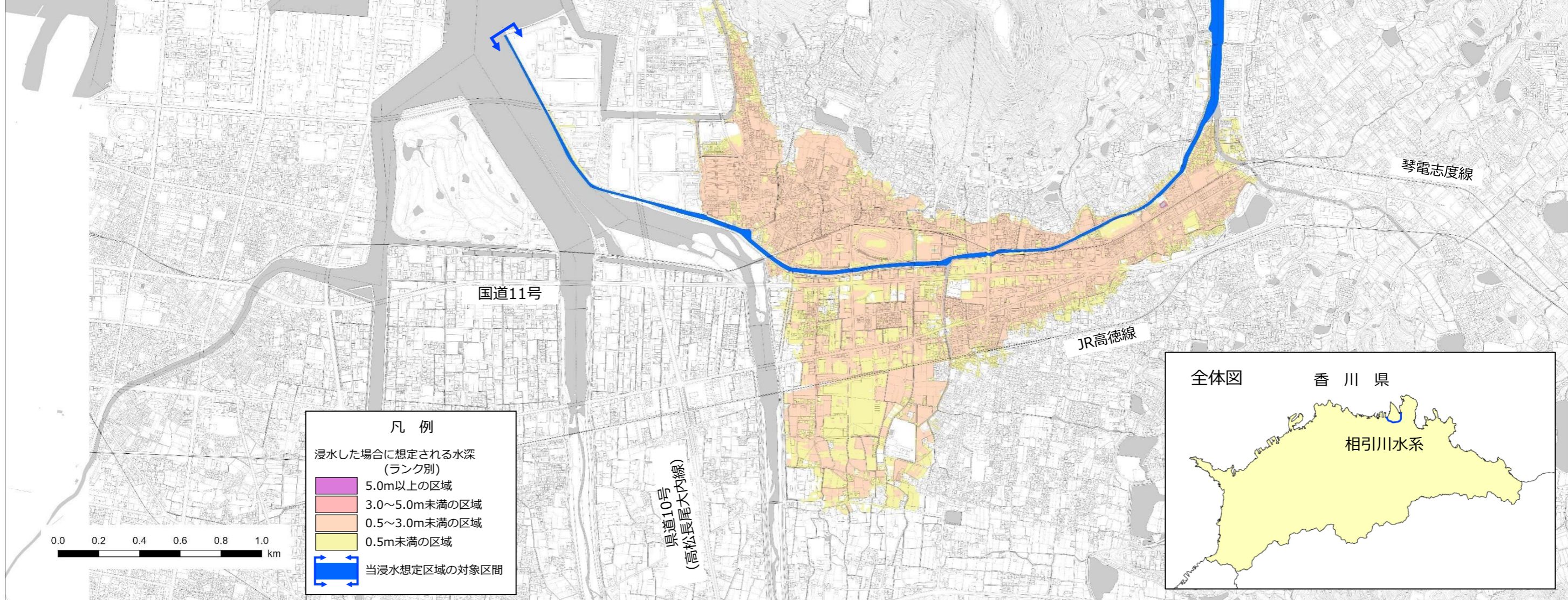
2. 基本事項等
 (1) 作成主体 香川県土木部河川砂防課
 (2) 指定年月日 令和5年11月30日
 (3) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 (4) 対象となる河川

水系名	河川名	実施区間
相引川水系	相引川	左岸：高松市屋島西町新浜2366番6地先から海まで 右岸：高松市屋島西町新浜2366番6地先から海まで

(5) 指定の前提となる降雨 相引川流域の24時間の総雨量779mm
 (6) 関係市町 高松市
 (7) その他計算条件等
 (a) この図は、上記2.(4)に記載した河川の県が管理する区間で、「洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）」（平成27年7月）の作成手法を基本としつつ、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」（令和2年6月）、「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き（第2版）」（平成28年3月）を取り入れ、越水又は溢水した場合の氾濫の予測される範囲、氾濫した場合に予測される浸水深を表示した図面です。
 (b) 氾濫解析では、ポンプ場・樋門等による内水処理の効果は考慮していません。
 (c) 氾濫区域を10m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
 (d) 河道の形状は、現地確認や簡易測量等により取得したデータ、令和2年に計測された航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があります。

注意文

- ・本図は、相引川水系の洪水浸水想定区域図であり、相引川水系以外の河川からの氾濫は反映されておりません。
- ・なお、相引川水系以外の洪水浸水想定区域については、対象水系又は河川毎に作成した洪水浸水想定区域図をご覧ください。



凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 5.0m以上の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

当浸水想定区域の対象区間

